

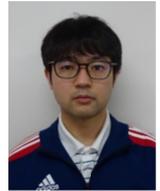


あゆみ

No. 188

令和 8年 3月26日発行

編集 発行：社会福祉法人 啓明会 苓山寮・第二苓山寮
 〒863-0006 熊本県天草市本町下河内 680
 TEL 0969-22-5339・0969-22-1766 FAX 0969-22-5090
 E-mail reizanryou@miracle.ocn.ne.jp・reizan2@muse.ocn.ne.jp
 社会福祉法人啓明会ホームページURL <http://keimeikai.amakusa-web.jp/>
 インスタグラム「[れいざんのニコニコ日より](#)」毎週火曜日更新中



『令和八年度重点目標
 と虐待防止目標』
 苓山寮副施設長
 飽田 一喜

これを書いていく二月の下旬から暖かい日が多くなってきました。一方で天草市は渇水で、蛇口をひねれば水が出る生活は決して当たり前ではないことが、よく分かりました。市より節水の協力が周知され、施設でも支援や給食が節水に励んでいるところと。これからの命と安全を守っていきます。

令和八年度の苓山寮、第二苓山寮、各グループホームの重点目標は「焦らず力まず諦めず」となりました。七年度は「夢を持つ」という目標で、利用者と職員の思いや考えを育み、実現しようとする一年を過ごしました。施設としても新しいことに挑戦し、今の制度にどう向き合っていくかを考えた一年だったと思えます。夢は将来の展望という長い目標でもありますが、こうだったらいよいよという現状への変化を望む思いもまた夢と言えるでしょう。目標が切り替わっても、人が夢を持ち続けたいです。八年度目標は、苓山寮の記念誌から見つけました。開設当初の苓山寮で、慣れない集団生活を送る利用者者を前にした職員が「焦らず力まず諦めず」を合言葉に時間を掛けて何度でも声を掛けて利用者

です。現在は苓山寮以外の事業所も含めて世代交代が進み、新しい環境で慣れない集団生活を送る利用者の方を今一度先達のように誠実に取り組むことが大切だと思ひ、この言葉を掘り起こしました。私たちは多様な障害特性に決してスマートフォンに対応できていません。しかし人として向き合い続けることはこの目標のようには変わりません。この目標の

新しい虐待防止目標は「勇気を出して声に出そう」となりました。七年度は「目で見て心で聴いて行動で示す」でした。利用者に対しての心構えだっただけで、職員に向けての内容に変えていきます。例えば、少しだけ職員への支援が雑に見えたとしても、それを別の職員が「疲れてるのかな」と思うだけでは、いつしかそれが誰かの手本になり、当たり前のようになってしまします。会議でなくとも普段から、利用者のために職員同士率直に意見を出し合う。容易でない目標ですが、人間関係よりも大切なものがあることを全職員に根付かせたいと思います。最後にこの場を借りて、令和八年度より施設長として働くことをお伝えします。現施設長は理事長のまま、施設長の補佐に回ります。今後とも利用者の方々が楽しく過ごせるよう努めて参りますのでどうぞよろしくお願いたします。

サービスの現場より



『地域連携推進会議』
苔山寮副施設長 鮎田 逸子

三月四日地域連携推進会議を開きました。苔山寮、第二苔山寮、G.E.I合同で家族代表、利用者代表、地域代表等総勢九名の出席でした。約一時間の会議、一時間半の施設見学と長丁場でしたが、利用者さん達三名も最後まで参加されました。この会議の目的は①利用者さんと地域との関係づくり②地域の方々の理解の促進③施設の透明性と質の担保④利用者さんの権利擁護の四つです。これまでも色々な形で地域との関係を築いてきましたが、利用者さんと地域の方が直接膝を交えて会議をする場はありませんでした。会議の中で日頃の生活のことややりたいことを聞かれる場面もあり、始めは少し緊張気味だった利用者さん達もだんだん打ち解けてこられ、施設を回るときは率先して説明をしてくださいました。利用者さん達が浮いてしまうのではないかとというこちらの心配は杞憂でした。地域の方やご家族も百聞は一見に如かず。利用者さん達の生の声を聞かれ現場を観られたことで、施設の実際を肌で感じられたのではないのでしょうか。人と人が出会うと思わぬ広がりが見られるものだと改めて実感しています。会議が一つ増えることはそれだけ手間でもありますが、思った以上に実りの多い会議でこれからどう発展させていくか考えどころです。



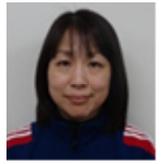
『担当利用者さんへの取り組み』
苔山寮支援副主任 山下 鉄兵

私が担当させて頂いているUさんは、挨拶をする素敵な笑顔を見せて下さり、時には小ジャンプをされるとも元気な方です。取り組みとしては活動や行事等の日課に沿った生活を送って頂ける事を目標に支援して頂きました。朝礼時にホールのホワイボードや歩行・清掃等のイラストを用いて、言葉だけで無く視覚からも把握して頂けるように説明して頂きました。イラストを見て頂き、「今日は〇〇があります」と説明すると「はい」と答えてくださり、活動が始まるまでホールにおられ、そのまま活動に参加される事もありました。しかし今年の一月頃より、朝礼時にあまりホールに来られなくなり、イラストでの説明にも興味を示さず、活動の声掛けを行っても中々参加されない事が多くなりました。そこで外歩行や清掃等を行われている本人様を写真撮影させて頂き、日課の内容に合わせた写真を見て貰いながら説明すると興味を示され、参加される事も増えました。まだまだ参加されない事もあります。今後、本人様が興味を持って頂ける様な説明を行い、楽しめる日々を過ごして頂けるよう支援して参ります。



『担当利用者さんへの取り組み』
第二苔山寮支援員 糸田 成美

私が担当させて頂いていただいているOさんについてお話させていただきます。Oさんはとても意思が強く可愛いものが大好きな方です。三年ほど前からアイロンビーズに取り組みられています。以前はあまり意欲的に何でもされる方ではありませんでしたが、始めたきっかけは、障がい者芸術展の見学に行った際、アイロンビーズの作品を見て興味をもたれた事でした。職員が下絵を書いて渡すと、ピンセットを使い下絵に合わせてビーズを置いていかれます。早い時には、すぐに出来る事もあり楽しんで取り組みられています。本人の好きなキャラクターを中心に年に十作品程を作り上げられています。芸術展や愛藍フェスタ、第二苔山寮で行われる作品展には毎回出品され、「上手ですね。さすがです。」などの言葉に喜び、「頑張らんばね。」とやる気も漲っています。今年、ステップアップとして作った作品をキーホルダーにしてみました。「可愛い。」と大喜びで、現在五つ目を作成中です。これからも、色んなことに楽しんで取り組めるようにサポートしていきたいです。



『種別部会合同研修会に参加して』

大会テーマ「選ぶ」を支える

くなしか？のまなざしで問い続ける

意思決定支援く

課長補佐 坂井 里美

今回の研修に参加し、改めて『意思決定支援』の重要性について学ぶ事が出来ました。知的障がいのある方が支援を受ける存在ではなく、自らが主体となって選択する事を大切にし、その意思を丁寧に汲み取る事が、その人らしい生活を支える上で重要であると理解しました。意思決定支援は、本人の自己決定を尊重する事が原則であり、たとえ周囲から不合理に見える選択であっても、他者の権利を侵害しない限り尊重する姿勢が求められます。また、意思表示が難しい場合でも、生活歴や日々の様子、表情や言動から想いを推測し、職員間で情報を共有しながら支援する事が大切です。さらに終末期において施設生活が困難になったとしても、互いの関係性を大切にし、最期まで『その人らしく生きること』を支える支援が重要であることを学びました。

今回の学びを今後の実践に活かし、日々の関わりを大切にしながら、一人ひとりの想いに寄り添い、その人らしく安心して充実した生活に繋がるよう支援していきたい。また、小さな想いにも気付ける支援者でありたいと感じました。



『問題解決しない事例検討会』

芥山寮 管理栄養士 長嶋さおり

私が栄養士会として参加しているACT（天草在宅医療介護連携推進プロジェクトチーム）会議は天草郡市医師会主催で在宅医療・介護の地域連携を充実するために医療・介護・福祉・行政等多職種の関係者が定期的に会合する天草全域の連携会議です。七年度は『認知症をはじめとする精神保健福祉分野でのネットワーク作り』をテーマにメンバー約三十名が六つのグループに分かれ活動しました。私のチームはテーマを『認知症や精神疾患の人たちをサポートしやすい地域づくり』とし、取り組みそうなこととして『問題解決しない事例検討会』をどんな職種も参加可能という設定で実施しました。第一回は介護の事例、第二回は芥山寮の利用者の方の事例でACTチームも参加し開催しました。この検討会は“問題解決を目指すのではなく事例対象者の理解を深める”会議であり、日頃の検討会とは異なるため参加した職員はついつい解決策や支援で困っていることの見解が出ていきましたが、アンケートには、「普段は問題を解決しようと支援しているが、問題解決しない会議は様々な面で考えることができ新鮮でした!」「多職種からの意見を聴くことで固定している考えに良い刺激があるんだなと感じさせられました。今回参加し、参考にした研修会を作り上げていきたいと思えます。」「最後に障がいを持つ方へ親だけではなく社会で育てるとい言葉に共鳴を受けました。」などの感想をいただきました。私自身も日頃知っているはずの利用者の方への見方が変わる時間でした。利用者の方は“困った人”ではなく“困っている人”という視点を意識し関わらせていただきたいと感じました。ご協力をいただいた皆様有難うございました。

豆まき

大迫力の赤鬼・青鬼の登場に利用者の皆さん、驚きながらも新聞紙を丸めて作った豆を思いっきり投げつけて「悪い鬼出ていけー」「福の神ー。」「良か鬼来てー。」と思い思いに声に出して鬼を追い払い払っていました。最後には鬼へ近づいて触ったり握手されており笑顔で鬼に出て行ってもらいました。これからも利用者様と職員が健康に安心して過ごせる様悪い鬼を追い払って、良か鬼に来てもらいたいと思います。

鬼はそと 福はうち



ひな祭り

3月3日、ひな祭り会を開催させて頂きました。女性利用者の方はお化粧と着物を身に着け、美しい姿を見せて下さいました。会では皆で作った飾りを見ながら、ボランティアコラボステージやボランティアステージ等と賑やかな雰囲気の中で、利用者の皆さんも笑顔が多く見られ、楽しい時間となりました。季節を感じられる行事を通して、皆と楽しく仲良く交流できる機会となりました。今後も利用者の皆さんが楽しめる行事作りを大切にしていきたいと思います。



亀小駒打ち

2月10日に行った亀川小学校駒打ち体験では、59名の小学生が参加をしてくれました。まずは、小学生の皆さんに原木を運んでもらいその後畳の上で木槌を使い皆さん真剣な表情で駒打ちを行っていました。利用者さんも小学生と会話をしたり、駒打ちのやり方を教えて下さったりと、自らコミュニケーションをとられ交流して下さっていました。駒打ち後は、椎茸収穫を体験して頂きました。皆さん楽しみながら収穫をされていました。最後にクイズを行い、大盛り上がりしました。正解者には、乾燥椎茸をプレゼントしました。今回の駒打ち体験では、普段と違う環境ではありましたが、利用者さんも小学生と交流していく中で笑顔も沢山みられ楽しみながら地域との交流ができました。これからもこの様な地域と繋がる取り組みを大切にしていかなければいけないと感じました。



令和七年度 さくらの会表彰式・苓山寮スタンプラリー（歩行）表彰式

三月二五日にさくらの会表彰式、苓山寮スタンプラリー（歩行）表彰式を行いました。年間を通して生活面や活動面で頑張られた方々を苓山寮から六名、第二苓山寮から一六名選出し、表彰させて頂きました。また、苓山寮スタンプラリー（歩行）各年代別上位の方を記念品と共に表彰いたしました。表彰された利用者の皆さんは、笑顔の方や緊張されている方それぞれでしたが、様々な表情を見ることが出来ました。

【さくらの会表彰者】

苓山寮

たくみ班

- ・松田 直樹さん
- ・栗原 節子さん
- ・松下 勇人さん

あすなる班

- ・田中 忠信さん
- ・山内 直子さん
- ・浦田由紀子さん



第二苓山寮

- ・赤藤 元一さん
- ・小嶋 稔宏さん
- ・里 信之さん
- ・椎原 隆司さん
- ・園田 健斗さん
- ・中田 哲也さん
- ・永濱 理音さん
- ・早瀬 勝徳さん
- ・堀切 雪吉さん
- ・山田 健司さん
- ・山本 直尋さん
- ・植村史津子さん
- ・坂口 保代さん
- ・田村のぞみさん
- ・福田 緑さん
- ・松谷 恵子さん
- ・村本 政春さん
- ・坂中 裕紀さん

【苓山寮スタンプラリー表彰者】

一〇〇代の部

- | | | | |
|----|----|-------|----|
| 男性 | 一位 | 濱崎 義人 | さん |
| 女性 | 一位 | 渡部 結水 | さん |

三〇〇～四〇〇代の部

- | | | | |
|----|----|-------|----|
| 男性 | 一位 | 松田 直樹 | さん |
| 女性 | 一位 | 徳永 真子 | さん |

五〇〇～六〇〇代の部

- | | | | |
|----|----|-------|----|
| 男性 | 一位 | 池田 富春 | さん |
| 女性 | 一位 | 中田 育代 | さん |

七〇代以上の部

- | | | | |
|----|----|--------|----|
| 男性 | 一位 | 内古閑 元雄 | さん |
| 女性 | 一位 | 坂口 美和子 | さん |

マンツーマンの部

- | | | | |
|----|----|--------|----|
| 男性 | 一位 | 松本 隆 | さん |
| 女性 | 一位 | 田邊 恭子 | さん |
| 女性 | 一位 | 倉岡 江里子 | さん |



【退職職員】

・ 鮑田 公博 (第二芥山寮副施設長)
 ・ 田中 美奈子 (グループホーム看護師)
 ・ 山口 瑞稀 (芥山寮支援員)

三名の方々が退職となります。大変お世話になりました。新たな出発が爽り多きものとなりますよう心より応援しています。たまには遊びに来て下さいね！



『実習を終えて』

福岡こども短期大学 福富 寧々

実習生施設実習を通して利用者の方一人ひとりに寄り添った支援の大切さを学びました。初めての施設実習で緊張していましたが、ホールに行く利用者の方々が挨拶をして下さり優しく声を掛けて下さったことで、安心して実習に取り組むことが出来ました。職員の方々も温かく丁寧にご指導して下さいました。職員の方々の支えが、特に食事支援や入浴支援などの日常生活支援を通して利用者の方から出来ることは、見守りながら支援する自立支援の大切さを理解しました。又、常に声掛けを行う事や利用者の方をよく観察する事で小さな変化に気づくことの重要性も学ぶことが出来ました。今回の実習で体験した事や学んだ事を将来に活かしていきたいと思えます。

【お悔やみ】

・ 祝原 和則 (芥山寮)

長く当施設を利用していただきありがとうございました。心よりご冥福をお祈りいたします。



日常生活の風景

松山 司さん

いつも元気一杯な司さん毎日「〇〇さん、おはよう！」と欠かさず挨拶をされ、我々も元気を頂いております。司さんは今年度、自由画活動へ取り組まれ多くのイラストを描かれました。好きなテレビ番組のキャラクターを描くのが得意で、最近はキャラクターだけでなく背景まで描くようになられ、今後どのような作品を描かれるのか日々私たちも楽しみにしています。自由画だけでなく身体を動かすことも大好きなので、今後も運動と自由画の時間を両立しつつ、楽しい生活が出来るよう共に歩んでいきたいと思えます。



荒木 慎吾さん

第二芥山寮生活介護を利用開始されました。日課である、歩行やストレッチ体操等の他、今年の二月からは晩柑を洗い皮をむく作業に参加されています。また、最近では、墓所清掃作業のメンバーとしても頑張られています。以前の荒木さんは直ぐ「したくない」とか「具合が悪い」と訴えられることもありましたが、生活介護を利用し、第二芥山寮の利用者の方々が優しく迎え入れてくれた事や、これまでに経験できなかった様々な活動に参加出来る事が意欲向上に繋がったと思います。これからも荒木さんが興味ある楽しい日中活動を提供していきたいと思えます。



行事予定

| | | |
|----|------|-----------|
| 四月 | 一日 | 辞令交付式 |
| | 七日 | えがおの会 |
| | 十四日 | 事業報告会議 |
| | 十五日 | オープンカフェ |
| | 二十日 | 第三者委員会 |
| | 二十二日 | 第一回管内研修 |
| | 二十五日 | 家族会総会 |
| | 二十九日 | 昭和の日 |
| 五月 | 三日 | 憲法記念日 |
| | 四日 | みどりの日 |
| | 五日 | こどもの日 |
| | 六日 | 振替休日 |
| | 八日 | 啓明会総合防災訓練 |
| | 十二日 | えがおの会 |
| | 十三日 | オープンカフェ |
| | 二十七日 | 感染症訓練 |



編集後記

春風が心地よく感じられる季節となりました。春といえば、桜・イチゴを連想します。イチゴが大好きなのでイチゴ狩りに行こうと思います。いい場所があったら、教えてください！

春は「出会い」と「別れ」の時期でもありますね。別れとは悲しいことですが、新たなスタートでもあります。そして、学校・会社・私生活の中で新たな出会いがあるかもしれないですね。もしあったら、ラッキーですね。その出会いを大切にしましょう！

